

公開
シンポジウム

福岡・東アジア・地域共生研究所、西日本宗教学会共同企画

文化資源としての 神仏習合 ～フォークロア・パラドクスを超えて～



深沙大將像

日本の宗教民俗文化研究は、おもに日本民俗学における民俗宗教論の主導のもとに進められてきた。この枠組みでは、宗教的実践の主体としての常民は、同時に宗教的枠組みの創造主体としても記述される傾向がある。だが、これは正しいのであろうか。歴史的に古いと考えられる宗教民俗文化を研究すると、民俗文化の外部にある宗教文化の重要性が顕著になる。つまり、この種の宗教民俗文化の記述に、日本民俗学の概念が不要になる傾向性が生じるのである。

今回のパネラーは、これを「フォークロア・パラドクス」と考え、日本の宗教民俗文化研究が概ねこのパラドクスを抱えている点を、日本学術振興会の科学研究費助成事業の研究プロジェクト（挑戦的萌芽研究「フォークロア・パラドクスを止揚する」）の中で明らかにしてきた。では、その先には何があるのだろうか。それは、従来の民衆像や文化史像の解体なのだろうか。今回のシンポジウムでは、この研究プロジェクトの参加メンバーをパネラーに迎え、この点について議論を進めていくことにする。

趣旨説明 13時30分～

中西 裕二氏
日本女子大学・教授

報告.1 13時50分～

蛇形のアマテラス
～日本列島における神の誕生と変貌～
佐藤 弘夫氏
東北大学・教授

報告.2 14時20分～

「陰」の修験と蛇王権現
～イヤダニマイリを超えて～
白川 琢磨氏
福岡大学・教授

報告.3 15時00分～

「陰陽道」という言説への疑問
鈴木 一馨氏
公益財団法人 中村元東方研究所・専任研究員

報告.4 15時30分～

在日華僑の普度勝会、
長崎・神戸・京都
～日本の祖霊信仰を問う直す視点～
松尾 恒一氏
国立歴史民俗博物館・教授

コメント 16時10分～

關 一敏氏
九州大学・教授

総合討論 16時40分～

2015年3月30日(月)

13:30～17:30(開場13:00)

会場 福岡大学セミナーハウス セミナー室A
(福岡市中央区六本松3丁目4-20)

定員 100名(申込先着順)

参加費 無料

対象 テーマに関心のあるすべての方

主催 福岡大学 福岡・東アジア・地域共生研究所、西日本宗教学会

申込方法 参加ご希望の方は、①お名前、②所属(職業)、③電話番号を下記まで、
Eメールまたはお電話でお知らせください。
※お寄せいただきました個人情報は、このシンポジウム以外に使用いたしません。

<西鉄バスをご利用の場合>

- JR博多駅より
博多駅バスターミナル1階4番のりばから
12番、113番、114番、200～204番系統のバスに乗車～「護国神社前」下車、徒歩5分
- 天神より
天神警回神社三越前のりばから
6番、7番、113番、114番、200～205番系統のバスに乗車～「護国神社前」下車、徒歩5分

<地下鉄七隈線をご利用の場合>

- 「天神南駅」より「橋本行き」乗車～
「六本松駅」下車 2番出口より徒歩15分



申し込み・問い合わせ先

福岡大学 福岡・東アジア・地域共生研究所 (担当:山田)

TEL.092-871-6631(代) 内線4046 ※平日9時00分～16時50分

Eメール yuzo@adm.fukuoka-u.ac.jp